

2022年3月期 第3四半期（第76期）

# 決算説明

2022年1月27日発表



**ペガサスマシン製造株式会社**  
**【証券コード:6262】**

- 2022年3月期第3四半期 決算概況 … 3
- 参考資料 …………… 14
- 会社概要 …………… 17

# 2022年3月期 第3四半期 決算概況

---

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大
- ✓ コンテナ不足による海上輸送コストの高騰や輸送遅延
- ✓ バイデン政権の対中政策（人権問題等）

## 工業用マシン事業

- ✓ 世界的アパレル需要の回復による設備投資の増加
- ✓ 消費地近隣諸国からの発注増加

## ダイカスト部品事業

- ✓ ベトナムでの新型コロナウイルス感染症対策による出社規制
- ✓ 原材料価格の高騰
- ✓ 部品（半導体、ハーネス等）調達の遅れによる自動車減産

# 連結業績概況

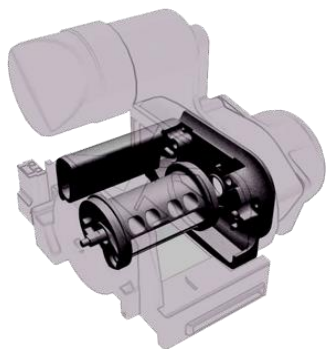


単位：百万円（百万円未満切り捨て）

（※カッコ内は為替要因除外比）

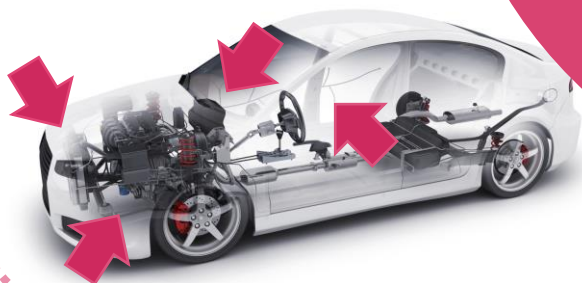
	前3Q	当3Q	増減額	増減率
売上高	8,299	14,722	+6,422 (+5,896)	+77.4% (+71.0%)
工業用マシン	6,475	11,831	+5,356 (+4,999)	+82.7% (+77.2%)
ダイカスト部品	1,824	2,890	+1,065 (+897)	+58.4% (+49.2%)
営業利益	180	1,272	+1,092	+604.9%
経常利益	323	1,312	+988	+306.0%
税前利益	42	1,305	+1,262	+2,946.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲106	1,037	+1,144	—

# 事業別売上比率



ダイカスト製品例イメージ図

ダイカスト製品  
使用部位例



ダイカスト部品  
19.6%

連結売上高  
14,722百万円

工業用マシン  
80.4%



工業用オーバーロックマシン



工業用偏平縫いマシン

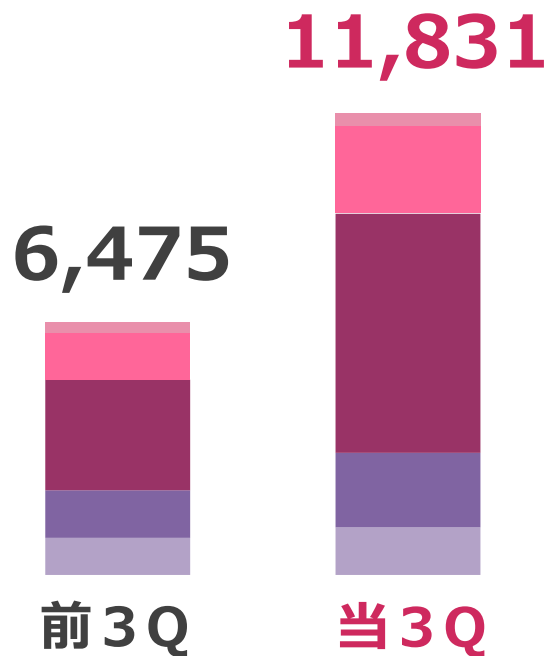
# 事業別所在地別売上高



## 工業用マシン事業

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

バングラデシュ、インドでの市場回復にけん引され、アジア地域での売上げが好調。



日本

314百万円  
前年同期比：+16.9%

中国

2,256百万円  
前年同期比：+86.3%

その他の  
アジア

6,140百万円  
前年同期比：+116.9%

米州

1,910百万円  
前年同期比：+57.2%

欧州

1,209百万円  
前年同期比：+27.5%

販売台数：+68.0%  
平均単価：+10.3%  
為替要因除外：+6.6%

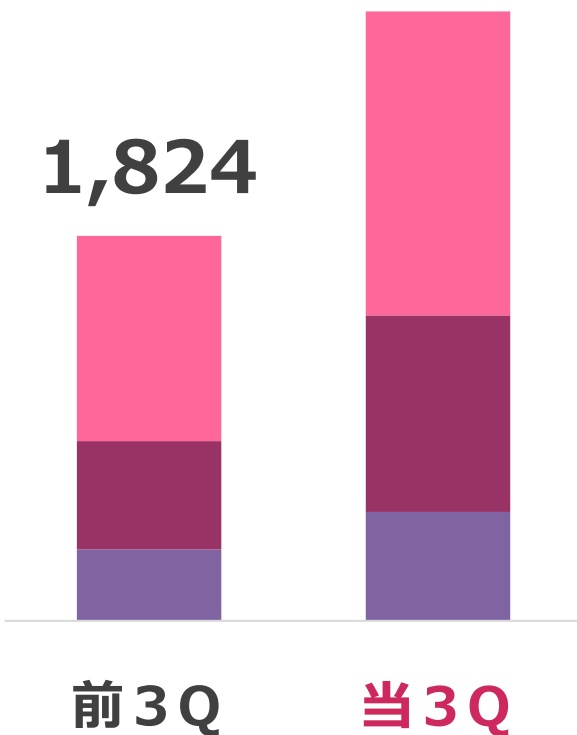
## ダイカスト部品事業

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

半導体不足等による自動車減産の影響を受けたものの、新規立ち上げ部品への投資効果により過去最高の売上げを記録。

2,890

1,824



中国

1,442百万円

前年同期比：+48.3%

その他の  
アジア

932百万円

前年同期比：+81.3%

米州

515百万円

前年同期比：+52.6%

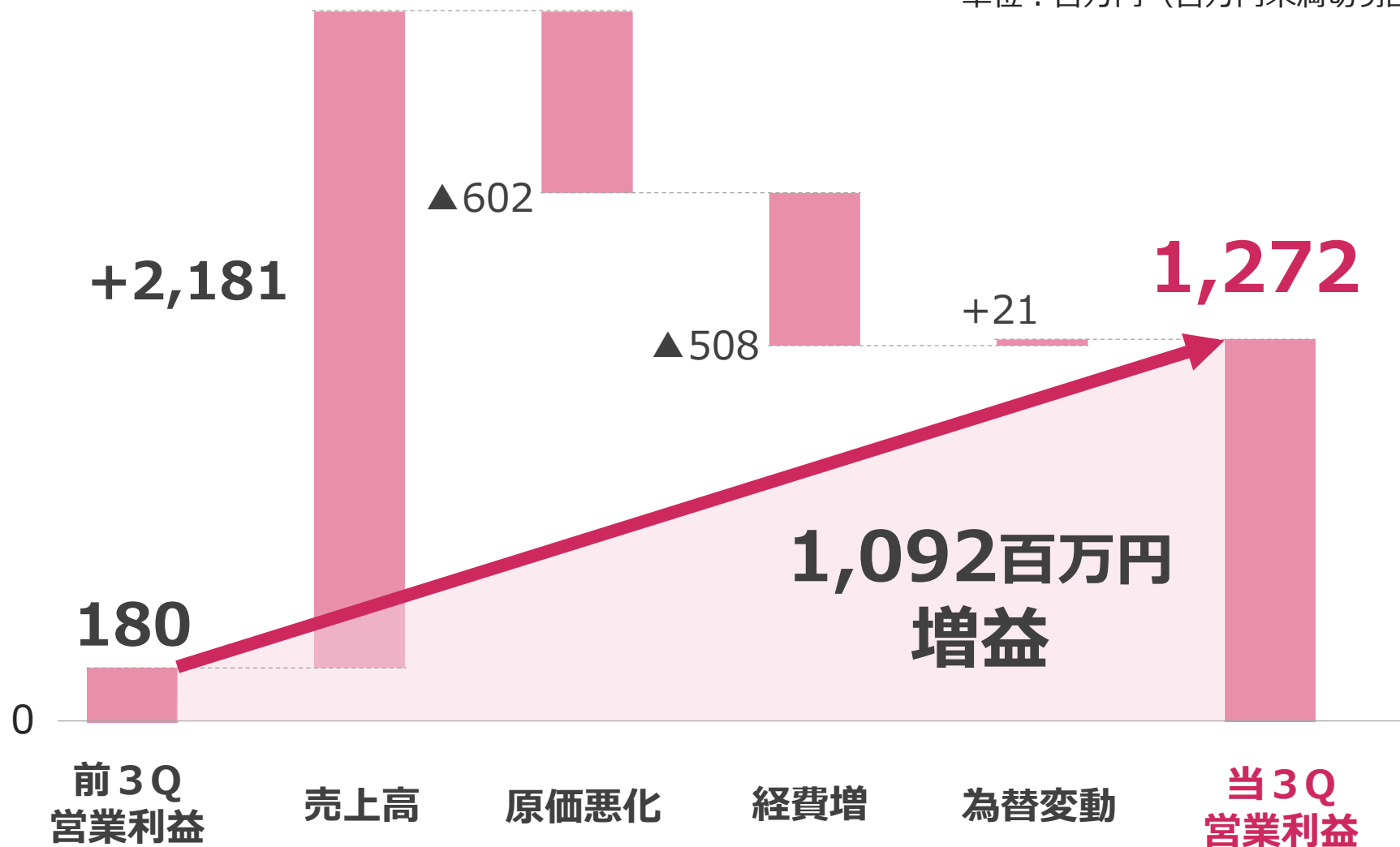


# 営業利益増減



材料費・輸送費高騰等による影響を売上高の増加でカバーし増収増益

単位：百万円（百万円未満切り捨て）



# 連結貸借対照表



単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	前期末	当3Q	増減額	主な増減要因
流動資産	21,257	23,957	+2,699	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金及び預金 +850</li> <li>受取手形及び売掛金 +1,477</li> </ul>
固定資産	8,588	9,351	+763	<ul style="list-style-type: none"> <li>有形固定資産 +608</li> <li>無形固定資産 +20</li> <li>投資その他の資産 +134</li> </ul>
資産合計	29,846	33,309	+3,463	

	前期末	当3Q	増減額	主な増減要因
流動負債	4,516	5,995	+1,479	<ul style="list-style-type: none"> <li>支払手形及び買掛金 +736</li> <li>短期借入金 +379</li> </ul>
固定負債	3,267	3,161	▲106	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期借入金 ▲225</li> </ul>
純資産	22,061	24,151	+2,089	<ul style="list-style-type: none"> <li>利益剰余金 +690</li> <li>為替換算調整勘定 +1,338</li> </ul>
負債純資産合計	29,846	33,309	+3,463	

※主要科目の主な増減について記載

(百万円未満切り捨て)

	前期末	当3Q
自己資本 (百万円)	21,381	23,417
自己資本比率 (%)	71.6	70.3

	前期末	当3Q
BPS (円)	861.77	943.84
期末株価 (円)	458	533
PBR (倍)	0.53	0.56

(百万円未満切り捨て)

	前3Q	当3Q
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	▲106	1,037
EPS (円)	▲4.29	41.82

# 連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	前3Q	当3Q	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,235	<b>1,439</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金等調整前当期純利益 1,305</li> <li>・売上債権の増減額(増加:▲) ▲1,157</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	201	<b>▲278</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得による支出 ▲539</li> </ul>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲193</b>	<b>▲491</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金の純増減額(減少:▲) 300</li> <li>・長期借入金の返済による支出 ▲339</li> <li>・配当金の支払額 ▲347</li> </ul>
現金及び現金同等物に係る 換算差額	<b>▲195</b>	<b>414</b>	—
現金及び現金同等物の 増減額	1,047	<b>1,083</b>	—
現金及び現金同等物の 期首残高	5,648	<b>8,273</b>	—
現金及び現金同等物の 期末残高	6,695	<b>9,357</b>	—

※主要科目の主な増減について記載

# 設備投資・減価償却費・研究開発費



単位：百万円（百万円未満切り捨て）

	前3Q	当3Q	増減額
設備投資額	352	539	+187
減価償却費	561	614	+53
研究開発費	308	284	▲23

## <主な設備投資状況>

単位：百万円（百万円未満切り捨て）

会社名	内容	累計投資額
PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.	生産設備の増設等	197
ペガサス（天津）ミシン有限公司	建屋の修繕等	154

# 參考資料

---

## 事業別所在地別売上高（為替要因除外前期比）

（百万円未満切り捨て）

工業用マシン事業		日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	工業用マシン事業
当3Q	売上高(百万円)	314	2,256	6,140	1,910	1,209	11,831
	前期比(%)	16.9	86.3	116.9	57.2	27.5	82.7
	為替要因除外 前期比(%)	16.9	70.3	114.7	55.6	19.0	77.2
前3Q	売上高(百万円)	269	1,211	2,831	1,215	948	6,475

（百万円未満切り捨て）

ダイカスト部品事業		中国	その他のアジア	米州	ダイカスト部品事業
当3Q	売上高(百万円)	1,442	932	515	2,890
	前期比(%)	48.3	81.3	52.6	58.4
	為替要因除外 前期比(%)	35.6	79.4	42.1	49.2
前3Q	売上高(百万円)	972	514	337	1,824

## 為替の影響 (2022年3月期第3四半期連結売上高ベース) 単位：百万円（百万円未満切り捨て） （為替レート、比率、原価率除く）

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	MXN	当期実績	為替要因除外	前期実績	為替要因除外前期比
期中為替レート	–	¥108.57	¥129.96	¥16.78	¥5.38	–	–	–	–
前期期中為替レート	–	¥107.46	¥121.25	¥15.34	¥5.01	–	–	–	–
差額(円)	–	1.11	8.71	1.44	0.37	–	–	–	–
売上高	314	8,983	1,209	3,698	515	<b>14,722</b>	<b>14,196</b>	8,299	5,896
比率(%)	2.1	61.0	8.2	25.1	3.5	100.0	–	–	–
<b>為替影響額</b>	<b>–</b>	<b>91</b>	<b>81</b>	<b>317</b>	<b>35</b>	<b>525</b>	<b>–</b>	<b>–</b>	<b>–</b>
売上原価	2,040	3,276	39	4,129	484	<b>9,970</b>	<b>9,546</b>	5,229	4,317
比率(%)	20.5	32.9	0.4	41.4	4.9	100.0	–	–	–
<b>為替影響額</b>	<b>–</b>	<b>33</b>	<b>2</b>	<b>354</b>	<b>33</b>	<b>423</b>	<b>–</b>	<b>–</b>	<b>–</b>
販売管理費	1,485	1,144	139	623	85	<b>3,478</b>	<b>3,398</b>	2,889	508
比率(%)	42.7	32.9	4.0	17.9	2.4	100.0	–	–	–
<b>為替影響額</b>	<b>–</b>	<b>11</b>	<b>9</b>	<b>53</b>	<b>5</b>	<b>80</b>	<b>–</b>	<b>–</b>	<b>–</b>
営業利益	▲3,211	4,562	1,029	▲1,054	▲53	<b>1,272</b>	<b>1,251</b>	180	1,070
<b>為替影響額</b>	<b>–</b>	<b>46</b>	<b>69</b>	<b>▲90</b>	<b>▲3</b>	<b>21</b>	<b>–</b>	<b>–</b>	<b>–</b>
売上原価率(%)	–	–	–	–	–	<b>67.7</b>	<b>67.2</b>	<b>63.0</b>	–



# 会社概要

---

## 企業理念

人と技術を通じて、よりよい製品・サービス・品質の提供に取り組み、社会の発展に貢献すること。

## 経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- ペガサス・テクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。

# 会社概要



会社名	ペガサスミシン製造株式会社
代表者	代表取締役社長執行役員 美馬成望
創業	1914年（大正3年）1月
所在地	大阪市福島区
資本金	22億5,555万円（2021年3月末現在）

売上高 124億2,245万円（2021年3月末現在）

従業員数 1,281名（連結2021年3月末現在）  
212名（単体2021年3月末現在）

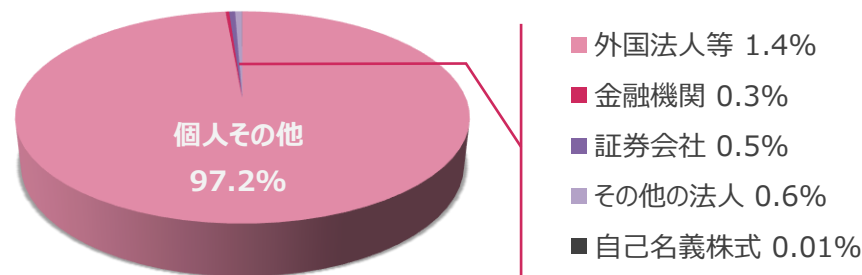
事業内容  
・工業用環縫いミシンおよび部品の製造・販売  
・自動車用ダイカスト部品を始めとするダイカスト部品の製造・販売

## 株主状況 2021年9月末時点

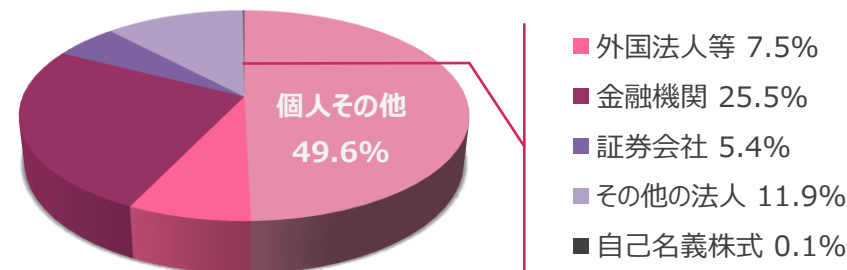
### ◆大株主の状況

株主名	割合
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9.8%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	9.2%
株式会社美馬	6.3%
株式会社三井住友銀行	3.3%
板東敬三	3.0%
吉田隆子	2.9%
美馬成望	2.5%
美馬正道	1.9%
板東雄大	1.7%
ペガサスミシン従業員持株会	1.6%
計	42.2%

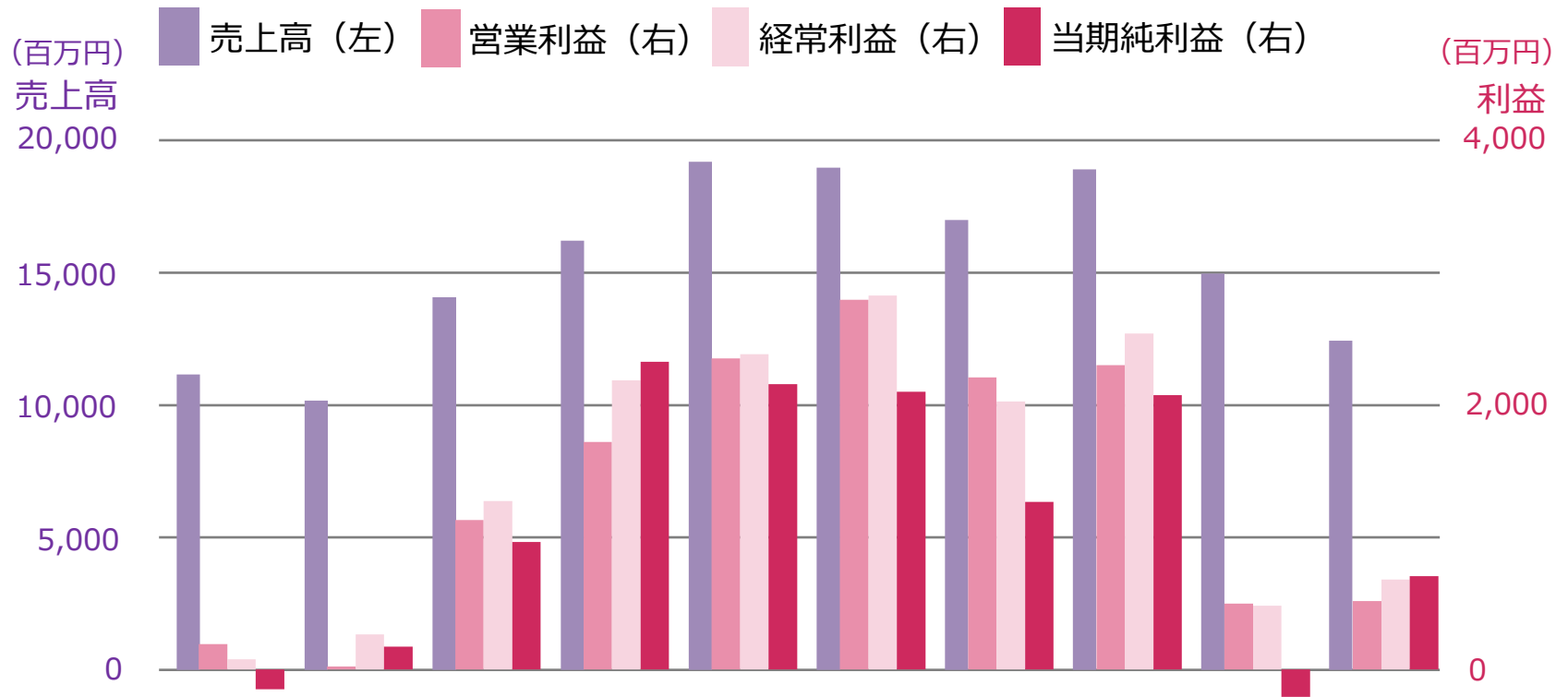
### ◆所有者別比率(%)



### ◆所有者別持株数比率(%)



# 連結業績推移



(単位：百万円)

	2012年 3月期 (66期)	2013年 3月期 (67期)	2014年 3月期 (68期)	2015年 3月期 (69期)	2016年 3月期 (70期)	2017年 3月期 (71期)	2018年 3月期 (72期)	2019年 3月期 (73期)	2020年 3月期 (74期)	2021年 3月期 (75期)
売上高	11,152	10,170	14,067	16,206	19,188	18,961	16,978	18,891	14,969	12,422
営業利益	192	21	1,118	1,723	2,356	2,798	2,212	2,306	499	516
経常利益	78	266	1,260	2,189	2,388	2,831	2,030	2,542	484	681
親会社に帰属する 当期純利益	▲149	174	953	2,328	2,160	2,103	1,270	2,079	▲206	707



## 本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の正確性などは何ら保証するものではありません。